

訪問看護ステーションかいな

病状や療養生活を専門家の目で見守り、適確なアセスメントに基づいたケアとアドバイスで、自立した生活が送れるよう支援します。

●緊急の場合にも対応します

24時間・365日相談に応じ、急変時にはかかりつけ医と連携し、必要がある場合は訪問し対応します。※別途契約が必要

●自宅への退院を支援します

入院中から病院と連携して、在宅生活に向けたスムーズな移行ができるよう相談や支援を行います。

●医療機器をつけた方の療養生活を支えます

経管栄養、在宅酸素、吸引、在宅での点滴注射、人工呼吸器等の医療処置が必要な方の在宅療養を支援します。

●安らかな死・ターミナル期を支えます

住み慣れた家で最期まで過ごせるように、医師の指示のもと痛みの管理や症状緩和などにも適切に対処し、心のケアも行います。ご家族とともに看取りをします。

●医療保険・介護保険の双方に対応できます

医療保険・介護保険の両方のサービスが同じステーションで引き続き受けられます。必要な場合は、他のステーションや医療機関の訪問看護を併用することもできます。

●医療と介護の橋渡しをします

さまざまな在宅ケアサービスの使い方の紹介や、介護保険の申請・更新のお手伝いをします。

●介護予防や機能回復のお手伝いをします

病状の悪化や寝たきりになるのを防ぐほか、拘縮予防や機能の回復、嚥下訓練などを行います。ベッドや車イス、介護用品の相談を行います。

●ご自宅以外でも受けられます

地域にあるグループホームや特定施設、特別養護老人ホームのショートステイなどにおいても、医療と介護の連携を強め、一定の場合にサービスを提供します。

かいなとは

漢字では「腕」と表し、二の腕や腕全体を表す古語として使われます。

かいな開設に当たって

日露戦争の傷兵軍人のために、明治39年、東京に設立された廃兵院が、小田原に移転したのが、昭和11年。激動の時代を経て、昭和56年筋ジストrophy、神経難病、脊損の療養病院（箱根病院）に厚労省がリハビリ学校を設立しました。

学生達は、外出機会の無かった、筋ジストrophy患者のために、「かいな」という外出介助ボランティアを作りました。

これが「かいな」と私の馴れ初めです。故郷に戻り、訪問看護、老健、デイケア、デイサービス、地域支援事業、ケアマネなど様々な業務を通じ地域医療・福祉に汗を流し、充実の日々を過ごして参りましたが、気づけば自身も40代。身内も、地域の皆様もすっかり年を取られ、高齢化社会を身近に感じる日々です。

さて現在、政府は「重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるケアシステム」を構築するよう自治体に求めています。この礎として、皆様の想いを体现するための腕として「訪問看護ステーション かいな」を設立した次第です。これから皆様、諸機関と未永くスクラムを組み、歩んで参ります。

株式会社 かいな 代表取締役 阿部 康彦
2018.1.1

「住み慣れた家で、自分らしく生きる。」をサポート。

訪問看護ステーション

かいな

地域の
訪問看護を
ご利用ください

- 健康に不安がある
- 退院後の生活が心配
- 赤ちゃんからお年寄りまで
- 最期を家でむかえたい



ご要望は

訪問看護ステーションかいな
〒665-0813
宝塚市口谷西3丁目63番3号
TEL:0797-99-0008
FAX:0797-99-0009
HP: kaina.biz